

平成 19 年度 予 算 の 特 徴

I. 予算の性格

国の新年度予算は、「基本方針（骨太の方針）2006」に定められた計画に沿って、各分野の歳出改革を盛り込んでおり、地方に対しても人件費、投資的経費などの歳出抑制を始めとした財政健全化への取り組みを強く求めるものとなっている。

本市の新年度予算であるが、歳入のうち市税は税源移譲や定率減税の廃止、景気回復により増収が見込まれるが、臨時財政対策債や地方特例交付金が減少するなど、引き続き厳しい状況に変わりなく、国県支出金の獲得や財政調整基金、市債の活用など財源確保に努めた。

一方、歳出については、実施計画を除き厳しいシーリングを設定した上で「部局枠配分方式」による予算編成を行い、行政評価を活用した事業の見直し、選択と重点化に努めるとともに、新規事業にも積極的に対応した。

重点施策としては、協働・共生のまちづくりや将来を担う人づくりの推進、安全・安心のまちづくり、地域経済活性化と活力あるまちづくり、広域連携の推進に取り組み、市制施行100周年記念事業の成果を活かし、新たな100年に向け、市民とともに歩む「安心・共生・協働型予算」として編成した。

II. 予算規模

会 計	予 算 額	伸 率
一般会計	1,103億 円	1.3% (4.7%)
特別会計	901億3千4百万円	7.0% (△5.3%)
企業会計	474億6千1百万円	1.9% (0.9%)
合 計	2,478億9千5百万円	3.4% (0.3%)

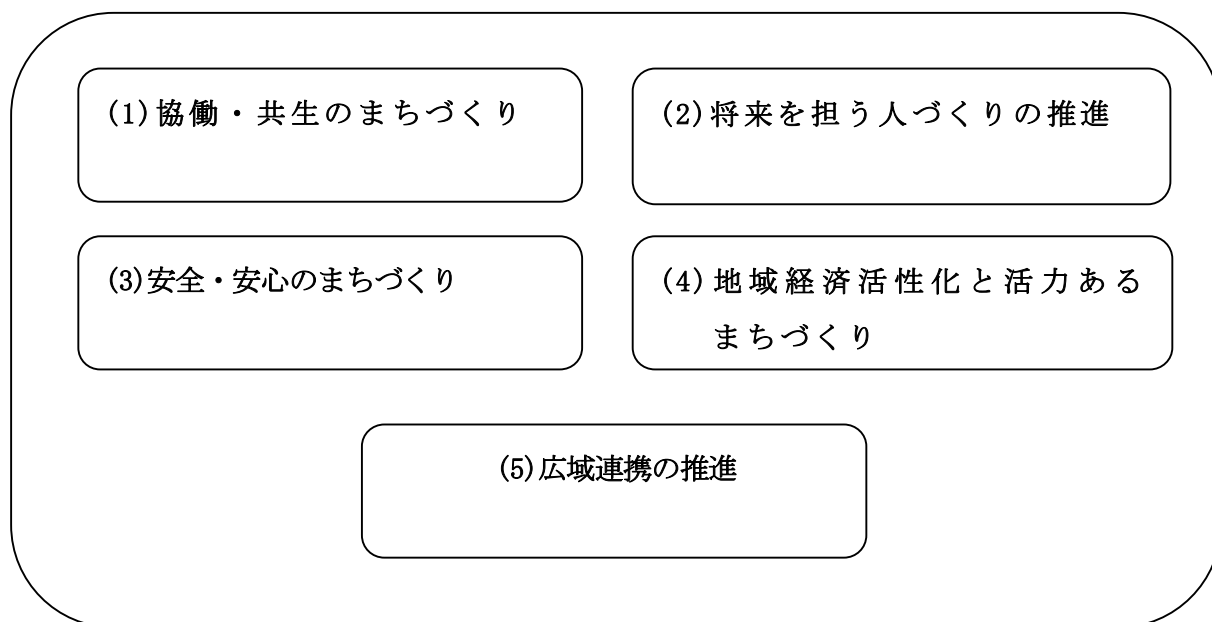
☆表中、() は前年度伸率を示す。

Ⅲ. 主な特徴

1. 平成19年度予算編成の対応

- 健全な財政運営の確保と財政状況に見合った施策の展開
- 普通交付税は18年度の不交付団体を踏まえ未計上
(臨時財政対策債は18年度比2億7千万円の減)
- 財政調整基金や市債を活用した財源確保
- あらゆる分野における歳出の見直し
 - ・厳しいシーリングの設定と既存事業の徹底的な見直し、再構築
- 政策・施策評価を活用した事業の選択と重点化
 - ・必要な分野に財源を集中

2. 重点施策の推進



(1) 協働・共生のまちづくり

- 市民協働事業の推進
 - ◎市民協働推進審議会の設置
 - ◎市民協働推進基金の設置(基金積立額 2,000万円)
 - ◎基金を活用した市民協働推進補助金の創設
(スタート支援、ステップアップ支援の2種類)

- 地域イベントへの助成（小学校区単位）
- 市民協働事業募集・提案制度の創設
- ◎平和・交流・共生のための取り組み
 - 戦争体験談の映像化
 - 海外協力交流研修員の受入れ（ブラジルの教職員1名）
 - 国際協力市民サロン設置への助成（豊橋市国際交流協会が設置）
 - 外国籍児童アフタースクール事業への助成
（豊橋市国際交流協会が実施する日本語指導や学習の支援事業）
 - 外国籍児童保育円滑化事業への助成
（外国籍児童・保護者を対象とした相談、指導）
 - 外国籍市民フローアアシスタント事業の実施
（市役所にポルトガル語通訳を配置）
 - 多文化共生懇談会の開催
 - 地域共生懇談会の開催
- ◎ネクスト100推進事業
 - ネクスト100市民会議の設置
（とよはし100祭の成果を新しいまちづくりにつなげる検討）
 - とよはし100祭記念展示の開催
（平成19年7月29日（日）～8月10日（金）の13日間）

（2）将来を担う人づくりの推進

- こども関連施設等整備事業
 - 施設等整備の本格化
（○建設工事（H18～H19 継続費）、◎展示等製作（H19～H20））
 - ◎施設等運営の準備
（◎企画運営プログラム研修、◎ボランティアの育成等）
- ◎保育料の保護者負担軽減を拡大
 - ◎保育料表の変更（軽減率 39.1%→39.5% 平成19年7月から）
 - ◎保育料の多子軽減の拡大（2人目以降の保育料軽減に幼稚園児を算入、私立幼稚園就園奨励費補助金においても同様の取扱い）

- 児童手当の充実
 - ◎乳幼児への加算 3歳未満の第1子・第2子 5千円→1万円)
- ◎保育所・幼稚園巡回相談事業の実施
- 私立幼稚園への助成
 - ◎地域活動事業への助成（6園）
 - ◎園舎改築への助成（豊橋才能教育幼稚園）
- 外国人児童生徒指導事業の充実
 - 外国人児童生徒教育相談員の増員（13人→17人）
 - 外国人児童生徒対応スクールアシスタントの増員（6人→8人）
 - ◎登録バイリンガルボランティアの活用（中国語等への対応）
- 英会話のできる豊橋っ子の育成
 - 英会話授業時間の増（小3～小6 年間3時間→35時間）
 - 外国人英語指導員・指導助手、スクールアシスタントの増員
- 私学振興の充実
 - 私立学校運営費補助金（◎ブラジル人学校「カンティニーニョ」）
- 吉田方中学校移転新築事業（H18～H19 継続費）
- ◎吉田方小学校校舎増築事業（19年度は仮設校舎を設置）
- ◎中学校校舎改築事業（2校 豊城中学校、中部中学校）
- 放課後児童対策事業の充実
 - 公立児童クラブの増設（26校区→28校区）
 - 民間児童クラブに対する助成（障害児受入クラブの増等）
 - ◎放課後子どもプラン推進委員会（仮称）の設置
- 公立児童クラブの整備
 - ◎芦原児童クラブ室の建設（軽量鉄骨造平家建 102.0 m²）
- 不妊治療に対する助成の拡大（助成回数 年度1回→2回
1回当たり限度額10万円、所得制限緩和）

（3）安全・安心のまちづくり

- 防災対策事業の推進
 - 防災無線（市内一斉通報用）の整備（前期 H17～H19 33局）

- ◎耐震改修促進計画の策定
- ◎市庁舎西館の耐震補強工事
- 災害時要援護者への支援
 - ◎災害時要援護者の台帳作成
- 地域防犯活動の推進
 - ◎安全で安心なまちづくり審議会の設置
 - 市民向け防犯講座の充実
 - (一般向けのほか年代別講座、モデル事業などの実施)
 - ◎空き地・空き家対策、不審者対策の実施
 - ◎防犯ボランティア団体活動保険の保険料負担
- 保健所・保健センター及び地域療育センター(仮称)の整備
 - 民間資金等活用事業調査委託(H18~H19)
 - ◎整備・運営事業の契約締結(契約期間 H19~H41)及び基本設計
 - ◎外周道路の測量調査
- 障害者自立支援法の円滑な実施
 - ◎市単独の利用者負担軽減を充実
 - (障害福祉サービス等給付事業と障害者地域生活支援事業の自己負担額を合算して上限額を適用)
 - ◎共同生活介護等基盤整備事業補助金の創設
 - (グループホーム、ケアホームの運営費等に対して助成)
 - ◎障害者自立支援特別対策事業の実施
 - (障害者自立支援法の円滑な実施のため事業者に対する激変緩和の事業等を実施)

(4) 地域経済活性化と活力あるまちづくり

- 都心活性化の推進
 - 優良建築物等整備事業補助金(◎東口駅南地区 H19~H21)
- 東口駅南地区都市拠点開発事業の推進
 - 東口駅南土地区画整理事業
 - ◎ペDESTリアンデッキ建設工事(H19~H20 継続費)

- 南口自由連絡通路整備事業（平成 20 年 3 月中旬より利用開始）
 - ◎新豊橋駅改善事業への助成（プラットフォームの 2 線化）
- 大山塚跨線人道橋改築事業（H18～H20）
- 次世代型とよはし農業創造計画の推進
 - ◎資源循環型畜産推進事業補助金
 - （家畜排せつ物堆肥の高品質化を図る堆肥舎等の設置に助成）
- ◎食農産業クラスターの推進
 - ◎食農産業クラスター推進フェアの開催（平成 19 年 10 月予定）
 - ◎戦略的農畜産物新商品開発セミナーの開催
 - （平成 19 年 6 月～10 月予定）
- 商店街のにぎわい創出支援
 - ◎商学連携促進事業への助成
 - ◎イルミネーションフェスティバルへの助成
 - （平成 19 年 11 月～平成 20 年 1 月予定）
- 中小企業活性化の推進
 - ISO規格認証取得への助成（◎新たに食品分野を対象）
 - 販路開拓支援事業費補助金
 - （◎従業者数 50 人以下の企業の助成範囲拡大 年 1 回→2 回、
 - ◎海外への出展に対しても助成）
 - ◎創業者支援事業費補助金の創設
 - （創業後 1 年未満、従業員数 50 人以下の事業者が対象）
- 中小企業者に対する助成・支援
 - ◎創業支援資金等信用保証料助成
 - ◎小規模事業資金の創設（経営基盤の弱い事業者を支援）
- ◎豊橋コンテナターミナル株式会社（仮称）への出資

（5）広域連携の推進

- 三遠南信地域連携ビジョンの策定（H18～H19）
 - （三遠南信地域の市町村等が一体となって将来像を描き、圏域の効果的な方向性を示すビジョンの策定）

- 大学と連携した広域的取組みの推進
 - 東三河地域防災研究協議会の活動（◎蒲郡市の新規加入）
 - ◎東三河農業共済組合の設立（東三河4地区の組合が統合）
 - ◎豊橋田原広域農業推進会議の設置
 - （豊橋田原IT農業推進会議、豊橋田原ファーマーズマーケット整備推進協議会、豊橋田原農産物輸出研究会の3組織を統合）
 - 東三河地方拠点都市地域整備推進協議会における広域的課題の調査研究

3. 第4次総合計画の主要施策の推進

（重点施策として記載したものを除く）

魅力と活力あふれるまち

- 総合文化学習センター（仮称）の調査
 - ◎芸術ホール（第1次整備）PFI導入可能性調査等の実施
- 総合動植物公園の整備等
 - ◎サルデッキ建設工事
 - ◎定期入園券（年間パスポート）等の導入
- 国際交流の振興
 - ◎南通市友好提携20周年記念訪問団の相互派遣
- ◎安全安心な農産物づくりの支援
 - ◎豊橋産農産物の残留農薬自主検査に対する助成
- ◎新型ナス選果機の導入に対して助成
- 優良農地の確保と保全
 - ◎遊休農地解消事業補助金
- 土地改良事業の推進
 - 団体営基盤整備促進事業補助金（◎高塚一ノ沢地区）
 - 農村保全活動推進事業の実施（H19～H23 6地区）
 - ◎豊橋筆振興協同組合創立30周年記念事業への助成
 - 都市エリア産学官連携促進事業（発展型）の推進

- 企業誘致活動の推進
- 若年者就職支援事業の実施（9月、2月の2回開催）

健康で安心して暮らせるまち

- 保健事業の推進
 - 健診事業等の充実（◎前立腺がん検診の対象年齢の拡充）
- 公衆浴場に対する助成の充実
 - （健全経営化補助金の増額 1浴場 25万円→30万円）
- 肝炎検査事業の充実（◎保健所で無料検査実施 月1回）
- 市民病院医療体制の充実
 - 医師4人、薬剤師1人を増員
 - ◎救命救急センター施設改良工事
 - ◎医療費のクレジットカード納付（平成19年7月利用開始予定）
- 総合老人ホームの充実（◎デイサービスの実施時間延長）
- 延長保育事業の充実（実施園27園→29園 ◎あしはら、◎大崎）
- 障害児保育の充実（指定園20園→21園 ◎嵩山）
- ◎西部地域福祉センター（仮称）の整備
 - ◎用地の購入 面積4,000㎡ ◎実施設計、地質調査
- ◎窓口センターの整備
 - （西部地域福祉センター（仮称）の建設に合わせ、西部・北部窓口センターを移転統合し、センター内に開設）
- ◎後期高齢者医療制度実施への対応
 - ◎愛知県後期高齢者医療広域連合負担金

個性的でいきいきと暮らせるまち

- 2学期制の全小中学校実施
- ◎通学区域の見直し（特定地域隣接校選択制、特認校制）
- ◎ワクワク・ワーク・イン・とよはし推進事業の実施
 - （発達段階に応じた勤労観・職業観を育てる）
- 教材提示用コンピュータの整備

(小中学校各1台のコンピュータとプロジェクターを配置)

- 北部学校給食共同調理場の改築
 - ◎用地の購入(進入路含む)
 - ◎民間資金等活用事業調査委託(H19~H20)
- 社会教育施設の整備
 - ◎青陵地区市民館リニューアル工事
 - ◎牟呂地区市民館リニューアル実施設計
 - ◎津田校区市民館移転新築に伴う地質調査等の実施
- ◎石巻地区総合型地域スポーツクラブのクラブハウス整備
- 体育施設の整備
 - ◎屋内スポーツ施設の予約システム(平成19年6月利用開始予定)
 - ◎市民プール管理棟の実施設計
- ◎市民文化会館の施設整備工事(照明、吊物の更新)
- ◎自然史博物館中生代展示室の展示物製作
- ◎南地域図書館整備事業の推進
 - ◎南地域図書館整備の検討
- 美術博物館の企画展
 - ◎山寺・後藤美術館所蔵「ヨーロッパ絵画名作展」
 - ◎野田弘志展
 - ◎千總コレクション「京の優雅～小袖と屏風～」展
- 二川宿本陣資料館の企画展
 - ◎池田遙邨展－昭和東海道と山頭火－

緑豊かで快適に暮らせるまち

- 緑化事業の推進
 - 花のあるまちづくりコンテナ設置(中心市街地の景観向上)
- 公園整備の推進
 - 総合スポーツ公園の整備等
- 公営住宅建設事業の推進
 - ◎植田住宅建替事業(第2期)(H19~H20 1棟39戸)
 - ◎新植田住宅建替事業(用地測量)

- まちづくり景観整備の推進
 - ◎まちづくり団体への助成（二川宿まちづくり会（仮称））
- ◎地域公共交通利用の推進
 - ◎バスの日イベントの開催（平成19年9月15日（土）予定）
 - ◎地域公共交通活性化基金の設置
- 路面電車活性化の推進
 - LRTシステム整備費補助金
（停留場のバリアフリー化 札木始め4停留場）
- 土地区画整理事業の推進（牛川西部、柳生川南部、牟呂坂津）
- 水道事業
 - 配水管整備事業 ○地震防災対策
- 下水道事業
 - 第7次拡張事業の推進
 - 地震防災対策 ○合流式下水道改善
- 地域下水道事業
 - 建設事業の推進（大山地区、石巻高井地区）
 - ◎地震防災対策

安全で住みよいまち

- 消防力の強化及び施設整備
 - ◎救急消毒室の設置（前芝出張所）
 - 車両の更新（石巻出張所の水槽付消防ポンプ自動車始め6台）
 - ◎第18回全国女性消防操法大会への参加（豊橋市女性消防隊）
- ◎消防団組織等改善協議会の設置
（消防団組織、体制等の諸課題への対応について検討）
- 交通安全対策の推進
 - ◎交通安全重点地区内の高齢者宅を個別訪問
（夏休み期間中の5日間）
- 海岸保全事業の推進
 - 高豊漁港海岸離岸堤設置（H15～H19）
 - 漁村コミュニティ基盤整備事業（二川漁港 H18～H19）

- 二川漁港海岸既存消波堤改良調査・検討
- 一般廃棄物不法投棄防止対策の充実（移動式監視カメラ等の設置）
- エコビレッジ基本構想の推進
 - ◎余熱利用施設の完成（平成 19 年 10 月 1 日（月）オープン）
- ごみ焼却施設（3号炉）の改修（H18～H24）
- 最終処分場整備事業の推進
 - ◎既設最終処分場の拡張工事
 - ◎新規最終処分場整備の発注仕様書作成委託
- 墓苑事業の充実
 - ◎市営墓地の整備
（再整備を行い貸出し 向山霊苑 61 区画、飯村墓地 57 区画）

4. 改革改善に向けた行財政運営の推進

- 第4次総合計画後期計画の推進（計画期間 H18～H22）
- 経営改革プランの推進（計画期間 H17～H22）
- 指定管理者制度の導入
 - （◎2施設－職業訓練センター、水の展示館）
- ◎助役・収入役制度の見直し
 - ◎「助役」の名称を「副市長」と改める
 - ◎「収入役」に代わり、「会計管理者」を置く
- 人件費の見直し
 - 職員数（職員△31 再任用 13 嘱託 11 計△7）
 - ◎職員健康保険組合保険料負担割合の見直し
（市負担割合の引下げ[37/1,000→28/1,000]）
- ◎コンビニ収納導入に向けての取組み
（公共料金収納システムの改修 平成 20 年 4 月利用開始）
- ◎普通財産の取得（10か年の分割払い）
（羽根井町、羽根井西町及び牟呂町字大師孝地内
面積 17,354.04 m²）
- ◎市債繰上償還による経営合理化〔競輪事業〕

平成19年度予算における財政状況

参考資料

一般会計

○予算規模は1.3%と2年連続の増加（18年度4.7%、17年度△7.5%）
3月補正前倒し分を加算した実質では1.5%（18年度2.0%）

市税

○⑱602億円 → ⑲650億円 <+48億円>
・個人市民税 ⑱188億円 → ⑲225億円 <+37億円>
税源移譲、定率減税廃止等の税制改正による増
・法人市民税 ⑱57億円 → ⑲64億円 <+7億円>
景気の回復等による法人税割の増
・固定資産税 ⑱265億円 → ⑲268億円 <+3億円>
家屋の新增築分等による増

地方交付税等

○地方交付税 ⑱ 1千円 → ⑲ 0.3億円 <+0.3億円>
(うち普通交付税 ⑱ 0 → ⑲ 0 <->)
○臨時財政対策債 ⑱29.5億円 → ⑲26.8億円 <△2.7億円>
(普通交付税+臨時財政対策債 ⑱29.5億円 → ⑲26.8億円 <△2.7億円>)
○所得譲与税 ⑱25.4億円 → ⑲ 0 <△25.4億円>
税源移譲により市税へ移行
○地方特例交付金 ⑱17.1億円 → ⑲ 4.0億円 <△13.1億円>
定率減税の廃止により市税へ移行

一般財源比率等

○一般財源比率 ⑱73.0% → ⑲73.7% <+0.7ポイント>
 ○自主財源比率 ⑱65.9% → ⑲70.8% <+4.9ポイント>

市債依存度

○⑱10.2% → ⑲7.4% <△2.8ポイント>
 (⑱最終処分場用地分を除き <△0.4ポイント>)
 ○3月補正前倒し分を加算した場合
 ⑱10.6% → ⑲8.0% <△2.6ポイント>
 (⑱最終処分場用地分を除き <△0.4ポイント>)

地方債現在高見込

○一般会計 ⑱末 1,179億円 → ⑲末 1,164億円 <△15億円>
 (うち建設地方債 ⑱末 830億円 → ⑲末 806億円 <△24億円>)
 (うち特別地方債 ⑱末 349億円 → ⑲末 358億円 <+9億円>)
 ※特別地方債=減税補てん債、臨時財政対策債、臨時税収補てん債
 ○全会計 ⑱末 2,109億円 → ⑲末 2,064億円 <△45億円>

予算規模

単位：億円

	11	12	13	14	15	16	17	18予	19予
歳入総額 A	1,194	1,122	1,115	1,080	1,122	1,148	1,096	1,110	1,103
歳出総額	1,151	1,065	1,076	1,035	1,064	1,102	1,049	1,110	1,103
市税	606	594	598	590	585	583	598	602	650
一般財源 B	849	846	846	830	850	840	817	804	813
一般財源比率 B/A	71.1	75.4	75.9	76.9	75.8	73.2	74.5	72.4	73.7

※
 17年度までは決算
 18年度は3月補正後予算
 19年度は当初予算